

第3回公開研修会

IT社会における感性小学校でどう育む？

日時：2019年5月25日(土) 午後1:30～4:45
場所：宜野湾市立大謝名小学校(くがにルーム)
資料代：500円(一般) / 1000円(会員年会費)

- ・ 母子同伴室(無料)
- ・ キッズルーム(1000円 / 要予約 / 1家族2名まで)
定員10名。一人遊びができる子(3歳程度以上)。
おやつやおもちゃ、絵本等持参の上、ご利用ください。

第一部：教育の未来を考える(110分)

14:00 - 14:40

デジタル機器とのつき合い方

講師：井藤 元

生活・教育空間にますます取り入れられていく「デジタル機器」とのつき合い方について、感性・思考力を育むシュタイナー教育からの提案です。

14:40 - 15:10

ワークショップ「フォルメン線描」

シュタイナー教育の柱の一つ「フォルメン」。「線を描き、形(フォルム)を作るその過程で、形の持つ本質を理解する」と言われています。実際に体験してみましょう。

(本格体験ワークショップは、次回会員研修会で)

補助：入福 玲子

2020年から必修化される「プログラミング教育」。生活を取り巻くデジタル機器から発信される大量の情報。目まぐるしく変化・進化し続ける IT社会では、ものごとの本質を捉える[感性]と[考える力]がより重要になります。

第3回公開研修会ではシュタイナー教育の「フォルメン」がもたらす効果を例に、感性と思考力をどの様に育てていくのかを考えます。

講師：井藤 元(東京理科大学教育支援機構准教授)

幼少期の短期間、スイスのシュタイナー学校で過ごした原体験を持つ。京都大学大学院教育学研究科博士課程修了。松竹芸能「笑育」監修者。当研究会顧問。

著書：『シュタイナー「自由」への遍歴ーゲーテ・シラー・ニーチェとの邂逅』京都大学学術出版会、編著『ワークで学ぶ教育学』、『ワークで学ぶ道徳教育』、『ワークで学ぶ教職概論』いずれもナカニシヤ出版 など。

第二部：実践発表(20分)

次回以降は裏面を参照

16:00 - 16:20

思考の基盤を作る漢字指導

報告者：入福 玲子

シュタイナー教育を実際の教育現場で取り入れた授業報告。今年度のテーマの一つである「国語」から小学校1年生の漢字指導に焦点を当てます。

15:10 - 15:50

フォルメンを科学的に読み解く

講師：井藤 元

フォルメンを行っているとき、脳の活動はどうなっているのか。脳波測定による最新の研究結果から「教育の未来」を再考していきます。

OSEPW事務局 Eメール: office@osep.work

公式WEBサイト (<http://osep.work/>)

問い合わせ 070-4356-9117 (担当: 上原)

FAX:098-923-0567 (申込書は裏面)